

Special Discussion

# 自動運転は 近未来の社会を どう変えるか。

日本をはじめ世界中のメーカーが開発を進めている自動運転技術。その中から衝突防止など新たな機能が次々と実用化されています。自動運転技術の進展により、近い将来、私たちの社会はどう変わるのか。モータージャーナリスト清水和夫氏と、自動運転に関わる専門家・河台英直氏のお話を伺いながら、会場の皆様とともに未来のクルマ社会について考えます。

Panelist



モータージャーナリスト  
清水 和夫氏



(独)自動車技術総合機構  
交通安全環境研究所  
自動車研究部長  
河台 英直氏

Coordinator



タレント兼  
モータージャーナリスト  
竹岡 圭氏

# 2018.1.19.fri

入場無料

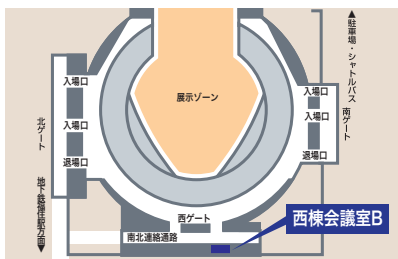
開場受付  
12:30

13:00-15:00

**場所** 札幌ドーム西棟会議室 B  
札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 ※右記地図参照

**定員** 200名  
定員になり次第、締め切らせていただきます。

※モーターショーの入場券は不要です。  
入場券をお持ちの方は、モーターショー会場と  
当イベント会場の出入り(再入場含む)が可能です。



【主催】 経済産業省  
北海道経済産業局

【共催】 札幌モーターショー2018  
実行委員会

【企画・協力】 「クルマ塾」実行委員会

「自動運転は近未来の社会をどう変えるか。」

参加申込書

参加希望の方は、平成 30 年 1 月 12 日 (金) までに FAX または E-mail にて、下記情報を記載の上お申込みください。  
必要事項の記載があれば、こちらのフォーマットでなくても構いません。

氏名	
連絡先 (FAXまたはE-mail)	
自動車との 関わり (当てはまるものに○)	<input type="checkbox"/> ①個人ユーザー <input type="checkbox"/> ②旅客輸送業 <input type="checkbox"/> ③運送業 <input type="checkbox"/> ④自動車販売 <input type="checkbox"/> ⑤自動車・部品製造 <input type="checkbox"/> ⑥その他 ( )
自動運転の 関心事項 (当てはまるものに○) ※複数回答可	<input type="checkbox"/> ①生活・運転の利便性 <input type="checkbox"/> ②高齢化・過疎化・人手不足対策 <input type="checkbox"/> ③ビジネスチャンス <input type="checkbox"/> ④実現性 <input type="checkbox"/> ⑤安全性 <input type="checkbox"/> ⑥その他 ( )

※お申し込みの際にご連絡いただきます情報(個人情報を含む)は、本イベントの運営のみに使用させていただきます。  
※参加者には FAX またはメールにてご連絡いたします。

お申し込み・お問い合わせ

札幌モーターショー 2018「スペシャルディスカッション」事務局  
(有) オールプロデュース

FAX 011-251-6561

E-mail info@all-produce.co.jp

TEL 011-252-6930 (お電話は営業時間中をお願いします。平日 9:30-18:00 ※12/29-1/3休み)

イベントプログラム

- 1 講演「自動運転技術の現状と課題」  
河合 英直 氏
- 2 講演「自動運転車の社会受容性」  
清水 和夫 氏
- 3 ディスカッション  
「自動運転は近未来の社会をどう変えるか。」  
パネリスト：清水 和夫 氏、河合 英直 氏  
コーディネーター：竹岡 圭 氏



「クルマ塾」実行委員会とは？

永年に渡り自動車の発展と、人々の生活との関わりをつぶさに見つめてきた自動車ジャーナリストを中心に構成される非営利組織。クルマを生活者視点で「捉え」ユーザーに分かりやすく「伝え」メーカー各社に「提言」し、幅広いユーザーに「クルマのある生活」への関心や理解を深めてもらうことで、豊かなモビリティ社会の創造に寄与することを目指し、様々な活動を展開中。

詳しくはこちら  
[https://www.facebook.com/kurunajuku/?ref=page\\_internal](https://www.facebook.com/kurunajuku/?ref=page_internal)